



RE-202

リファレンス・マニュアル

目次

各部の名称とはたらき	3
トップ・パネル.....	3
リア・パネル	5
外部ペダルの接続について.....	6
電源を入れる／切る.....	7
各モードのヘッド組み合わせ	8
メモリーの保存／切り替え	9
各種設定	10
エクスプレッション・ペダルの機能を設定する.....	10
フットスイッチの機能を設定する (CTL 1 FUNCTION、CTL 2 FUNCTION)	11
ダイレクト音の出力をオン／オフする (DIRECT ON/OFF)	12
ダイレクト音の音色を切り替える (DIRECT MODE)	13
エフェクト・オフや切り替え時に残響を残す／残さない (CARRYOVER)	14

[REPEAT RATE] つまみの動作モードを設定する (TIME MODE)	15
リバース・タイプを切り替える (REVERB TYPE)	16
MEMORY の最大値を設定する (MEMORY EXTENT)	17
TWIST のタイプを切り替える (TWIST TYPE)	18
タップの設定 (TAP SETTING)	19
リバース・タイプをメモリーごとに設定する／しない (REVERB TYPE PREFERENCE)	20
MIDI の設定.....	21
工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセッ ト)	26
ゴム足を取り付ける.....	27
主な仕様.....	28

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



名称	機能
1 [MEMORY] ボタン	メモリー（MANUAL、1～4）の切り替えや保存をします。現在選ばれているメモリーの番号が MANUAL、MEMORY 1～4 インジケーターで表示されます。外部 MIDI 機器を使って、メモリー 5～127 を選んでいるときは、インジケーターがすべて消灯します。
2 [INPUT] ボタン	INPUT に接続する機器に合わせます。 GUITAR：ギター、ベースを接続するとき。 LINE：シンセサイザーやミキサーなどを接続するとき。 * 全メモリーに反映されるシステム設定です。 * [INPUT] ボタンを長押しすると、エクスプレッション・ペダルの機能を設定することができます。
3 [TAPE] ボタン	新品のテープを使った音か、程よく使用したテープを使った音かを切り替えます。音色と揺らぎが変化します。

名称	機能
	* [TAPE] ボタンを長押しすると、つまみとボタンの操作を有効（アンロック）にするか／無効（ロック）にするかを切り替えることができます。ロック中に操作をすると、ディスプレイが点滅表示されます。
4	[SATURATION] つまみ プリアンプの歪みとテープの磁気飽和によるコンプレッション感を調節します。
5	[WOW & FLUTTER] つまみ 機構的な摩擦抵抗やテープのスリップなどで発生する、テープ・スピードの揺らぎを調節します。右に回すほど揺らぎが大きくなります。
6	[MODE SELECTOR] つまみ モード 1～12 を切り替えます。4 つの再生ヘッドの組み合わせによる 12 種類のエコーが得られます。 各モードのヘッド組み合わせ(P.8)
7	[BASS] つまみ エコーの低域を調節します。
8	[TREBLE] つまみ エコーの高域を調節します。
9	[REVERB VOL] つまみ リバーブの音量を調節します。[ECHO VOL] つまみを左に回し切ると、リバーブのみの使用ができます。
10	[REPEAT RATE] つまみ テープ・スピードを調節します。右に回すほど速くなり、エコーの間隔が短くなります。スピードにより音色も変わります。
11	[INTENSITY] つまみ エコーの繰り返し音量（フィードバック量）を調節します。右に回し切ると発振します。
12	[ECHO VOL] つまみ エコーの音量を調節します。
13	[ON/OFF] スイッチ 押す：エフェクトをオン／オフします。 長押し（WARP）：押している間、残響効果が強くなって幻想的な音を作り出します。
14	[MEMORY] スイッチ 押す：メモリーを切り替えます。 長押し：エコーと同時にリバーブを使用するかを切り替えます。
15	[TAP] スイッチ 押す：演奏曲のテンポに合わせて REPEAT RATE を設定することができます。 長押し（TWIST）：押している間、エコー音を発振させてアグレッシブな回転感を作り出します。

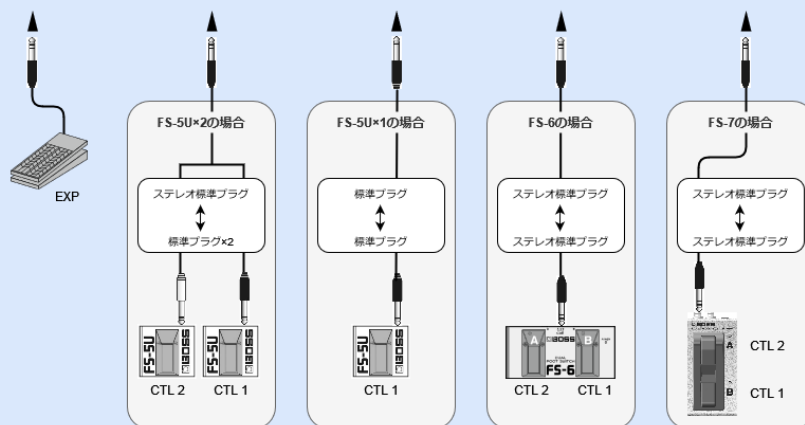
リア・パネル



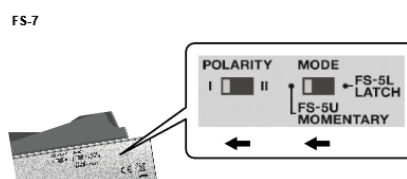
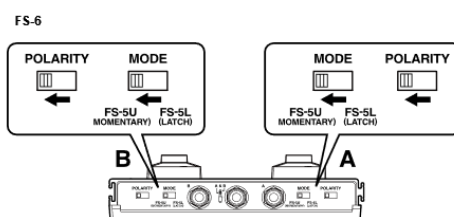
名称	機能
16 INPUT A/MONO, B	エレキ・ギターやキーボード、その他の楽器やエフェクターを接続する入力端子です。 モノのときは、A/MONO 端子に接続してください。
17 OUTPUT A/MONO, B	ギター・アンプやキーボード・アンプ、その他のエフェクター、ミキサーに接続する端子です。 A/MONO と B の両方に接続すると、リバーブをかけたときにステレオ効果が得られます。 モノ出力のときは A /MONO 端子に接続してください。
18 CTL 1,2/EXP 端子	● CTL 1,2 端子として使う フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、TWIST や WARP への切り替え、MEMORY UP/DOWN などができます。 ● EXP 端子として使う エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、エクスプレッション・ペダルのつま先側とかかと側のエフェクト設定を連続的に変化させることができます。
19 MIDI IN/OUT 端子	TRS/MIDI コネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BCC-1-3535）で、外部 MIDI 機器に接続します。 外部 MIDI 機器を使って、本機のメモリーを最大 127 まで切り替えることができます。 * オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。
20 USB 端子	USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルで、パソコンに接続します。 * 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。 * プログラム・アップデート専用です。
21 DC IN 端子	AC アダプターを接続する端子です。 * AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。 * DC IN 端子に付属の AC アダプターを接続すると、電源がオンになります。 電源を入れる／切る(P.7)
22 接地端子	外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

* 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

外部ペダルの接続について



モード/ポラリティー・スイッチ



電源を入れる／切る

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

電源を入れるとき

アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

アンプなどの電源を最初に切ってください。

- * 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

各モードのヘッド組み合わせ

MODE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
再生ヘッド 1	●			●		●	●	●		●	●	●
再生ヘッド 2		●		●	●		●				●	●
再生ヘッド 3			●		●	●	●		●	●		●
再生ヘッド 4								●	●	●	●	●

- * 再生ヘッド 2、3、4 のディレイ・タイムは、再生ヘッド 1 のディレイ・タイムの 2 倍、3 倍、4 倍となります。タップ入力時は、各モードで基準にしている再生ヘッド 1 のディレイ・タイム（タップ・ディレイ・タイム）として設定されます。
- * MODE 8～12 は、Roland スペース・エコーRE-201 にはない再生ヘッド 4 を搭載したサウンドです。
- * MODE 12 は他のモードと異なり、4 つの再生ヘッドの位置を、音の密度が高いサウンドが得られるように最適化しています。

メモリーの保存／切り替え

メモリーに保存する

エディットした設定を保存することができます。

1. **[MEMORY] ボタンを長押しします。**

現在選ばれているメモリー番号のインジケーターが点滅し、書き込み待機状態になります。

2. **[MEMORY] ボタンから手を離します。**

3. **[MEMORY] ボタンを押して保存先のメモリーを選びます。**

ボタンを押すたびに MANUAL→1→2→3→4 と切り替わります。

メモ

外部 MIDI 機器を使って、メモリー5～127 を選ぶことができます。5～127 を選ぶと、MEMORY 1～4 インジケーターがすべて点滅します。

4. **もう一度 [MEMORY] ボタンを長押しして、保存を実行します。**

メモリー番号のインジケーターが高速点滅し、点灯に変わると、書き込みが終了です。

外部 MIDI 機器を使ってメモリー5～127 を選んでいるときは、MEMORY 1～4 インジケーターがすべて高速点滅したあと、消灯します。

- * 手順3の前に各つまみやフットスイッチを操作すると、書き込みが中止されます。
- * MANUAL に保存した場合、[TAPE] ボタンとエクスプレッション・ペダルの設定のみが保存されます。

メモリーを切り替える

保存したメモリーを呼び出します。

1. **[MEMORY] ボタン、または [MEMORY] スイッチを押してメモリーを選びます。**

ボタン／スイッチを押すたびに MANUAL→1→2→3→4 と切り替わります。

メモ

外部 MIDI 機器を使って、メモリー5～127 を MIDI で選ぶことができます。5～127 を選ぶと、MEMORY 1～4 インジケーターがすべて消灯します。

MANUAL (マニュアル) とは？

通常はメモリーに保存された設定に従ってエフェクトがかかりますが、MANUAL を選ぶと、パネル上のつまみの位置でエフェクトがかかります。このとき [TAPE] ボタンとエクスプレッション・ペダルの設定は、MANUAL に保存した設定（変更可能）が呼び出されます。

各種設定

エクスプレッション・ペダルの機能を設定する

CTL 1, 2/EXP 端子にエクスプレッション・ペダル（別売：Roland EV-5 など）を接続すると、[MODE SELECTOR] つまみを除くトップ・パネルのつまみを操作することができます。

エクスプレッション・ペダルのつま先側を踏み込んだ最大値（MAX）のときの音色と、かかと側を踏み込んだ最小値（MIN）のときの音色を設定して、連続的に変化させることができます。

- * エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

エクスプレッション・ペダルの設定は MANUAL、MEMORY 1～4 それぞれに設定することができます。

1. [MEMORY] ボタンでエクスプレッション・ペダルの設定をする MEMORY（MANUAL、MEMORY 1～4）を選びます。

2. [INPUT] ボタンを長押しします。

GUITAR インジケーターが点滅します。

3. 各つまみで、かかと側を踏み込んだ最小値（MIN）のときの音色を設定します。

4. もう一度 [INPUT] ボタンを押します。

LINE インジケーターが点滅します。

5. 各つまみで、つま先側を踏み込んだ最大値（MAX）のときの音色を設定します。

6. もう一度 [INPUT] ボタンを押して、機能設定を終了します。

フットスイッチの機能を設定する（CTL 1 FUNCTION、CTL 2 FUNCTION）

CTL 1, 2/EXP 端子に接続したフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）機能を設定します。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで、CTL 1 の機能を設定するときは 6 を、CTL 2 の機能を設定するときは 7 を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで設定する機能を選びます。

MEMORY インジケータ	機能
MANUAL	次のメモリーを選びます。
1	1 つ前のメモリーを選びます。
2	エフェクトのオン／オフを切り替えます。
3	演奏曲のテンポに合わせてフットスイッチを押して、演奏曲とタイミングの合った REPEAT RATE を設定します。
4	CTL 1：スイッチを踏む間、WARP をオンにします。 CTL 2：スイッチを踏む間、TWIST をオンにします。

4. [TAP] スイッチを押して、機能設定を終了します。

ダイレクト音の出力をオン／オフする (DIRECT ON/OFF)

ミキサーの SEND/RETURN に接続するときなど、エフェクト音のみを出力したいときは、ダイレクト音の出力をオフにすることができます。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで 8 を選びます。
3. [MEMORY] ボタンでオン／オフを選びます。

MEMORY インジケーター	機能
MANUAL	ダイレクト音を出力します。
1	ダイレクト音を出力しません。

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

ダイレクト音の音色を切り替える (DIRECT MODE)

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで 9 を選びます。

[MEMORY] ボタンで音色を選びます。

MEMORY インジケーター	機能	説明	
MANUAL	アナログ・バイパス	入力された音をそのまま出力します。	
1	RE-201 シミュレート	RE-201 のプリアンプを通したダイレクト音をデジタル信号処理で再現します。	エフェクト OFF の時に SATURATION の効果は無くなります。
2			エフェクト OFF でも SATURATION 効果は維持されます。

3. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

- * RE-201 シミュレートに設定した場合、エフェクトをオフにしてもシミュレート効果はあります。
- * RE-201 シミュレートに設定した場合、エフェクト・オン時の [SATURATION] つまみの効果はエコー音と同時にダイレクト音にもプリアンプの歪みを与えます。

エフェクト・オフや切り替え時に残響を残す／残さない（CARRYOVER）

エフェクトをオフにしたときや、メモリーを切り替えたときに残響を残すか残さないか設定します。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで 10 を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで設定を選びます。

MEMORY インジケーター	機能
MANUAL	残響音を残す
1	残響音を残さない

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

[REPEAT RATE] つまみの動作モードを設定する (TIME MODE)

[REPEAT RATE] つまみの動作モード切り替えて、テープ・スピードの調節範囲を変更することができます。同時にタップ・ディレイ・タイム（再生ヘッド 1 のディレイ・タイム）の設定範囲も変わります。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで 11 を選びます。
3. [MEMORY] ボタンでモードを選びます。

MEMORY インジケーター	モード	機能
MANUAL	ノーマル	[REPEAT RATE] つまみが、Roland と同じ範囲で動作します。 タップ・ディレイ・タイムの設定値は、最大 1 秒になります。
1	ロング	[REPEAT RATE] つまみの設定範囲がノーマルの 2 倍になります。 タップ・ディレイ・タイムの設定値は、最大 2 秒になります。

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

リバーブ・タイプを切り替える (REVERB TYPE)

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで 12 を選びます。
3. [MEMORY] ボタンでリバーブ・タイプを選びます。

MEMORY インジケーター	リバーブ・タイプ
MANUAL	RE-201 SPRING
1	HALL
2	PLATE
3	ROOM
4	AMBIENCE

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

メモリーごとにリバーブ・タイプを設定する

メモリーごとにリバーブ・タイプを設定することができます。

- * 各メモリーでリバーブ・タイプを設定する場合は、最初に「[リバーブ・タイプをメモリーごとに設定する／しない \(REVERB TYPE PREFERENCE\)](#) (P.20)」の設定を「1」に設定してください。

1. [MEMORY] スイッチを長押しし、LED が点滅したら離します。
2. [MEMORY] ボタンでリバーブ・タイプを選びます。

MEMORY インジケーター	リバーブ・タイプ
MANUAL	RE-201 SPRING
1	HALL
2	PLATE
3	ROOM
4	AMBIENCE

3. [MEMORY] スイッチを押して、設定を終了します。

MEMORY の最大値を設定する (MEMORY EXTENT)

選択可能なメモリの最大値を設定します。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで 1 を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで最大値を設定します。

MEMORY インジケータ	最大値
1	1
2	2
3	3
4	4

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

TWIST のタイプを切り替える (TWIST TYPE)

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで 2 を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで TWIST のタイプを選びます。

MEMORY インジケーター	TWIST タイプ	説明
MANUAL	ノーマル	標準的な効果が得られます。
1	ハード	激しい効果が得られます。
2	ナチュラル	設定されているエコーに合った自然な効果が得られます。

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

タップの設定 (TAP SETTING)

【TAP】スイッチを使ってテンポを設定するときに、どの再生ヘッドを基準にするかを選ぶことができます。4 分音符／付点 8 分音符を選ぶことができます。

1. 【TAP】スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. 【MODE SELECTOR】つまみで 3 を選びます。
3. 【MEMORY】ボタンでタップの設定を選びます。

MEMORY インジケータ	タップの設定
MANUAL	再生ヘッド 1、4 分音符
1	再生ヘッド 1、付点 8 分音符
2	SHORT (各モードでディレイ・タイムが最も短いヘッド)、4 分音符
3	SHORT (各モードでディレイ・タイムが最も短いヘッド)、付点 8 分音符
4	LONG (各モードでディレイ・タイムが最も長いヘッド)、4 分音符
MANUAL+1	LONG (各モードでディレイ・タイムが最も長いヘッド)、付点 8 分音符

4. 【TAP】スイッチを押して、設定を終了します。

* 各モードのヘッド組み合わせ(P.8)

リバーブ・タイプをメモリーごとに設定する／しない (REVERB TYPE PREFERENCE)

リバーブ・タイプをメモリーごとに設定することができます。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで 4 を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで設定を選びます。

MEMORY インジケーター	REVERB TYPE PREFERENCE
MANUAL	全メモリーで共通のリバーブ・タイプを設定する。(SYSTEM)
1	メモリーごとにリバーブ・タイプを設定する。(MEMORY)

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

MIDI の設定

1. [ON/OFF] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [MODE SELECTOR] つまみで設定項目を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで設定を選びます。
4. [ON/OFF] スイッチを押して、設定を終了します。

設定項目	[MODE SELECTOR] つまみ	設定値	点灯インジケータ	説明
受信チャンネル (RX CH)	6	OFF	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 1	オフ
		1	MEMORY : 1、 HEAD : 1	CH. 1
		2	MEMORY : 2、 HEAD : 1	CH. 2
		3	MEMORY : 3、 HEAD : 1	CH. 3
		4	MEMORY : 4、 HEAD : 1	CH. 4
		5	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 2	CH. 5
		6	MEMORY : 1、 HEAD : 2	CH. 6
		7	MEMORY : 2、 HEAD : 2	CH. 7
		8	MEMORY : 3、 HEAD : 2	CH. 8
		9	MEMORY : 4、 HEAD : 2	CH. 9
		10	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 3	CH. 10
		11	MEMORY : 1、 HEAD : 3	CH. 11
		12	MEMORY : 2、 HEAD : 3	CH. 12

設定項目	[MODE SELECTOR] つ まみ	設定値	点灯インジケータ ー	説明
		13	MEMORY : 3、 HEAD : 3	CH. 13
		14	MEMORY : 4、 HEAD : 3	CH. 14
		15	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 4	CH. 15
		16	MEMORY : 1、 HEAD : 4	CH. 16
送信チャンネル (TX CH)	7	OFF	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 1	オフ
		1	MEMORY : 1、 HEAD : 1	CH. 1
		2	MEMORY : 2、 HEAD : 1	CH. 2
		3	MEMORY : 3、 HEAD : 1	CH. 3
		4	MEMORY : 4、 HEAD : 1	CH. 4
		5	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 2	CH. 5
		6	MEMORY : 1、 HEAD : 2	CH. 6
		7	MEMORY : 2、 HEAD : 2	CH. 7
		8	MEMORY : 3、 HEAD : 2	CH. 8
		9	MEMORY : 4、 HEAD : 2	CH. 9
		10	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 3	CH. 10
		11	MEMORY : 1、 HEAD : 3	CH. 11

設定項目	[MODE SELECTOR] つ まみ	設定値	点灯インジケータ ー	説明
		12	MEMORY : 2、 HEAD : 3	CH. 12
		13	MEMORY : 3、 HEAD : 3	CH. 13
		14	MEMORY : 4、 HEAD : 3	CH. 14
		15	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 4	CH. 15
		16	MEMORY : 1、 HEAD : 4	CH. 16
		RX	MEMORY : 2、 HEAD : 4	RX CHANNEL と同じチャンネルで送信 します。
プログラム・チェ ンジ受信 (PC IN)	8	ON	MEMORY :	プログラム・チェンジを受信します。
		OFF	MEMORY : 1	プログラム・チェンジを受信しません。
プログラム・チェ ンジ送信 (PC OUT)	9	ON	MEMORY :	プログラム・チェンジを送信します。
		OFF	MEMORY : 1	プログラム・チェンジを送信しません。
コントロール・チ ェンジ受信 (CC IN)	10	ON	MEMORY :	コントロール・チェンジを受信します。
		OFF	MEMORY : 1	コントロール・チェンジを受信しませ ん。
コントロール・チ ェンジ送信 (CC OUT)	11	ON	MEMORY :	コントロール・チェンジを送信します。
		OFF	MEMORY : 1	コントロール・チェンジを送信しませ ん。
MIDI クロック同 期 (SYNC)	12	INTERNAL	MEMORY : MANUAL	RE-202 内部のクロックに同期します。
		AUTO	MEMORY : 1	MIDI で受けた MIDI クロックに同期しま す。ただし、クロックが受信できないと きは、自動的に RE-202 内部クロックに 同期します。
REALTIME SOURCE	1	INTERNAL	MEMORY : MANUAL	内蔵リアルタイム・メッセージをソース にします。
		MIDI	MEMORY : 1	MIDI IN 端子からのリアルタイム・メッ セージをソースにします。

設定項目	[MODE SELECTOR] つ まみ	設定値	点灯インジケータ ー	説明
MIDI THRU	2	ON	MEMORY : MANUAL	MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号を、そのまま MIDI OUT 端子から送信するか (ON) 送信しないか (OFF) を設定します。
		OFF	MEMORY : 1	
DEVICE ID	3	17	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 1	エクスクルーシブ情報の送受信に用いるデバイス ID を設定します。
		18	MEMORY : 1、 HEAD : 1	
		19	MEMORY : 2、 HEAD : 1	
		20	MEMORY : 3、 HEAD : 1	
		21	MEMORY : 4、 HEAD : 1	
		22	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 2	
		23	MEMORY : 1、 HEAD : 2	
		24	MEMORY : 2、 HEAD : 2	
		25	MEMORY : 3、 HEAD : 2	
		26	MEMORY : 4、 HEAD : 2	
		27	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 3	
		28	MEMORY : 1、 HEAD : 3	
		29	MEMORY : 2、 HEAD : 3	
		30	MEMORY : 3、 HEAD : 3	
		31	MEMORY : 4、 HEAD : 3	

設定項目	[MODE SELECTOR] つ まみ	設定値	点灯インジケータ —	説明
		32	MEMORY : MANUAL、 HEAD : 4	

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

1. [ON/OFF] スイッチと [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。

2. [TAP] スイッチを押します。

リセットが開始されます。MEMORY インジケータが MANUAL→1→2→3→4 の順に点灯します。[ON/OFF] スイッチが点灯したら終了です。

3. 電源を切ります。

注意

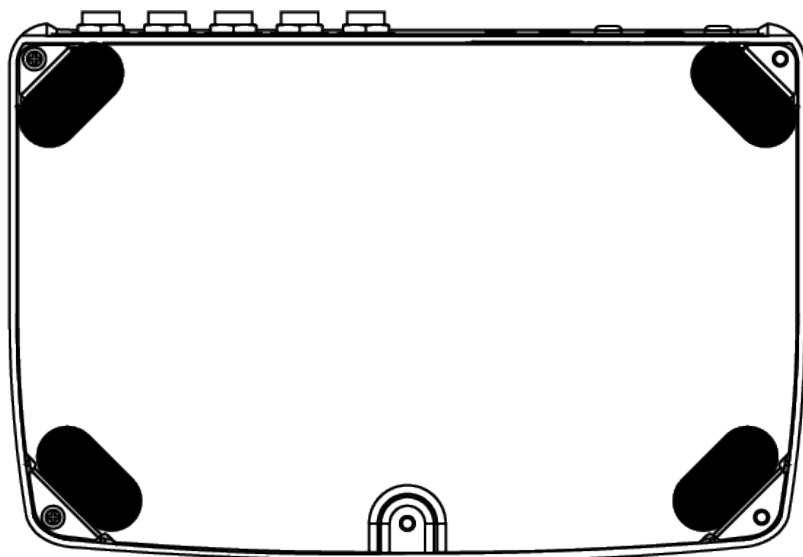
ファクトリー・リセット実行中は電源を切らないでください。

ゴム足を取り付ける

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。

- * 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- * ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。



主な仕様

サンプリング周波数	48kHz
AD 変換	24 ビット + AF 方式 * AF 方式 (Adaptive Focus method) は AD コンバーターの SN 比を飛躍的に向上させるローランド/ボス独自の方式です。
DA 変換	32 ビット
内部演算	32 ビット浮動小数点
モード	12 種類
メモリー	127 + マニュアル
規定入力レベル	INPUT A/MONO、INPUT B : -10dBu
最大入力レベル	INPUT A/MONO、INPUT B : +7dBu
入力インピーダンス	INPUT A/MONO、INPUT B : 1M Ω
規定出力レベル	OUTPUT A/MONO、OUTPUT B : -10dBu
最大出力レベル	OUTPUT A/MONO、OUTPUT B : +7dBu
出力インピーダンス	OUTPUT A/MONO、OUTPUT B : 1k Ω
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT A/MONO、OUTPUT B : 10k Ω 以上
バイパス	バッファード・バイパス
コントロール	[ON/OFF] スイッチ、[MEMORY] スイッチ、[TAP] スイッチ、[SATURATION] つまみ、[WOW & FLUTTER] つまみ、[MODE SELECTOR] つまみ、[BASS] つまみ、[TREBLE] つまみ、[REVERB VOL] つまみ、[REPEAT RATE] つまみ、[INTENSITY] つまみ、[ECHO VOL] つまみ、[MEMORY] ボタン、[INPUT] ボタン、[TAPE] ボタン
接続端子	INPUT A/MONO、INPUT B、OUTPUT A/MONO、OUTPUT B 端子 : 標準タイプ CTL 1, 2/EXP 端子 : TRS 標準タイプ MIDI (IN、OUT) 端子 : ステレオ・ミニ・タイプ DC IN 端子 USB 端子 : USB マイクロ B タイプ (プログラム・アップデートのみ)
電源	AC アダプター
消費電流	140mA
外形寸法	192 (幅) × 133 (奥行) × 52 (高さ) mm (ゴム足を除く) 192 (幅) × 133 (奥行) × 53 (高さ) mm (ゴム足を含む)
質量	860g
付属品	AC アダプター 取扱説明書 チラシ (安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口) ゴム足 保証書

サンプリング周波数	48kHz
別売品	フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 MIDI/TRS コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、BCC-1-3535、BCC-2-3535

* 0dBu=0.775Vrms

* 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

RE-202

リファレンス・マニュアル

02

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

©2022 Roland Corporation